



所長コメント

猿猴橋の桜を見に行った。

1945年原爆被災(爆心地より約1.82km)。現在、京橋・栄橋・比治山橋・荒神橋・観光橋と共に、現存する被爆橋梁である。

竣工当初は橋名を記した四隅の親柱の上に地球儀に乗り、羽ばたく大きな鷲の像が、欄干には猿猴(河童)二匹が向かい合った銅製の飾りがついていたとのこと。

これらは戦中、金属類回収令により撤去され、戦後もそのままになっていた。

住民運動により飾りの復活が決定、3月28日にお披露目があった。

私もニュースで見るとまで、鷲の像のことは知らなかった。改めて行ってみた。背後にそびえる建設中のタワーマンションと比べてみるとなんとなく違和感がある。

以前の猿猴川は水もどぶ色であったが、最近泳げそうならいきれいになった。

2代目の鷲は変わった広島をどのように見ているのだろうか？

社長の仕事 税理士 大場史郎

経営者に必要な四つの力

「ファーストリテイリング【ユニクロ】の柳井正氏はソフトバンクの孫正義氏と並び、現役の日本のカリスマ経営者の双璧だろう。

彼の言葉の中に、経営者は次の4つの力が必要と上げている。

- 1 変革する力
- 2 儲ける力
- 3 チームを作る力
- 4 理想を追求する力

この言葉は我々中小企業にも言えるのではないだろうか。

世の中の流れ、顧客満足度を上げるために自社をどう変革していくか、対応していくかが弱者が生き残る方法である。恐竜は大きな体を持って余り減びたが、ネズミは太古よりしたたかに、環境に順応して生きている。

しかし、いくら理想を掲げても、**儲けなければ**、米(お金)がなければ誰も(従業員、顧客)を幸せにすることはできない。理想を掲げて絵に描いた餅に終わる人はいくらでもいる。

仕事は一人でやるのではなく、すべてチームで行うものだ。**いいチーム**を作る。そのためには社員のモチベーションを上げ、教育をし続けることが必要

になる。

企業の最終目標は自分たちの存在意義である仕事(使命)を通じて社会に貢献することである。

大きな**理想を掲げて**、**追及する**ために、会社を変革し、実行できるチームに変え、到達までの食料が滞らないようにしなければならない。それを実現するのが経営者の仕事だ。

成果を上げるために 経営者に必要な四つの力

